

カシヤの夜明け

シリーズ企画 『タッセイ誕生秘話』

～第8回～



シリーズで会長の創業の物語をお伝えしています。

松下電工（現在のパナソニック）は現在、タッセイ最大の取引先のひとつですが、このような関係になったのは意外な出来事がきっかけでした。

昭和36年頃、松下電工は『住まいの総合メーカー』を目指し、電気工事器具のメーカーからプラスチック建材の分野にも進出していました。

これまで、会長自身が「これは！」と思い、メーカーに直接交渉して取引をお願いしていたのですが松下電工から熱烈なアピールがあり、取引を開始することを決めました。

ところが、いったん取引を開始すると、松下電工の企業姿勢に目を見張るようになります。

そのきっかけとなった出来事は、昭和38年の3.8豪雪と呼ばれている大雪の日に起こりました。家の2階から出入りをするほどの大雪の中、当時人気があった「お笑い三人組」が訪れたのです。それは松下電工の手配によるもので、しばしの間社員たちには笑顔が戻りました。

この出来事で松下電工の商品を販売する努力だけでなく、顧客に対する深い心配りを感じ感銘を受けたのです。

次月号は『現社長、田中猛雄の入社』お楽しみに☆



お笑い三人組との記念撮影



みんなのらくがき帳



～編集部からの
自由コラム～

最近、おなかが気になつて腹筋を始めた金沢支店西山です。

もうすぐ桃の節句の時期になりますね！

わが家でも娘の成長を祈って雛人形の準備を始めました。

取り出すのに納戸に行くと、昔聴いていた

カセットテープや写真とかに目移りして

思い出にタイムスリップしちゃいました。（#^.^#）



そんなこんなで設置完了！

あっ！雛あられも買ってこなきゅへ。

「建材」と「愛」をお届けする
タッセイの「人柄」を見せる情報誌

発行

TASSAY

明日の快適を考える
株式会社タッセイ

Vol.009号

2015年2月25日発刊

タッセイ通信

三代目奮闘記



皆様、こんにちは！いつもありがとうございます。
この春から上の娘が小学校に通い出すタッセイ3代目・常務の田中陽介です。

実は今、悩んでいることがあります。
それは娘の子ども部屋をどうしようか？
という事。

机やベット、収納の大きさなどに頭を悩ませつつ実際に見てみようと先日家族で神戸のIKEAへ行つきました。

ザッと展示を見て回り
「どんな子ども部屋にしようか？」と嫁さんと話すと、
お互いの考える子ども部屋が全く違う！



そこで昼食を取りながら
テーブルの紙ナプキンにあれやこれや
とレイアウトを書き出す僕と嫁さん。
この作戦が功を奏して意見が合い、
机と収納をGETできました。



いやしかし、
子ども部屋作りってけっこう大変…。
イメージと現実をうまく着地させる難しさ。
親子や夫婦でも話すだけでは
イメージがうまく伝わらなかつたり、
欲しい家具やインテリアが
どこで入手できるか分からなかつたり。

そんな中、
家づくりに関わるプロの皆さん
これまで多くの子ども部屋をプランしてこられてますよね。
きっと数々のことだわりが有るかと思います。
素敵な部屋の作り方、ぜひお会いした際に
聞かせて貰えると嬉しいです！

株式会社タッセイ 常務取締役

田中陽介



今日は久住梨沙さん！

名前：久住 梨沙

所属：営業経理

勤続：1年半

好きな芸能人：いますけど、忙しくてかまってあげれません(笑)



タ：タッセイ通信今月号のゲストは新婚ほやはやの♡久住梨沙さんです。

まずはご結婚おめでとうございます！新婚生活はどうですか？

久：ありがとうございます。新婚生活はすごくラブラブです！！ふふっ♡

って言いたいところですけど、生活していくのに精一杯で…

起きる！家事！食べる！家事！寝る！毎日繰り返しです。(笑)

でも、旦那さんに見えないとこで支えてもらっているなって

安心感はありますよね。

タ：そうそう！家族になるってそういうものですよね！

とか先輩ぶつてみました(笑)

タ：では、入社して1年半たちましたがタッセイはどうですか？

久：1番思うのが、会社の雰囲気が明るくてとても働きやすいことですね。

入社したばかりの頃は建材の知識なんて全くありませんでしたけど、このコーナーで前に紹介されていました稻田さんにマンツーマンで教えて頂いて、たくさん話をしていく中で緊張もすぐほぐれていけたんですね～。今でもわからないことはみなさん丁寧に教えてくれますし、なによりわからないことを訊きやすい職場の雰囲気がすごく良いと思います。

タ：営業経理では久住さんの天然キャラでいつも笑いが絶えないですよね。

久：違いますよ！！私、天然じゃないです。単に間違ってるだけなんです！

タ：もはや、その発言が僕には理解不能です…。(笑)

タ：では、最後に今後の意気込みをお願いします。

久：これまで、営業さんから言われたまま発注してましたけど、

見積りを手伝うようになって発注してたものがどこに使われて
いるものなのかということが少しずつわかつてきました。

これからもっと覚えて、営業経理として出来る限り営業さんのサポートをしていきたいです！

タ：今回のインタビューでもっと久住さんの天然ぶりを伝えたかったな～。

久住梨沙さん、お忙しいところ、ありがとうございました！

来月は、小浜営業所の吉田敬史さん！(右)出てくれるかな？



このメンバーでしっかりサポートします！



編集長 松山が突撃取材！

イベントレポート



みなさん、こんにちは！

老けて見られるのか、初めてお会いする方から「35歳ぐらいですか？」と聞かれる松山です…。

今回は「次世代リーダー育成塾 東京視察旅行」についてレポート！

工務店様の後継者・若手経営者を対象にした勉強会「次世代リーダー育成塾」

その卒業生8名と共に1月21・22日の2日間、東京へ行ってきました。

2日間のスケジュールは

1月21日（水）

- ①パナソニックセンター 東京「Wonder Life-BOX 2020」見学
- ②旧万世橋駅をリノベした「mAach ecute 神田万世橋」見学
- ③懇親会 パナソニック 福本前所長と再会

1月22日（木）

- ①YKKAP 品川ショールームを見学
- ②株式会社ツタエル 2015年総会に参加



パナソニックセンター東京で集合写真



Wonder Life-BOX 2020 の内部



mAach ecute 神田万世橋の外観

この日程の中で特に印象に残ったのが、パナソニックセンターの「Wonder Life-BOX 2020」でした。2020年の暮らしをイメージした空間で、最新の設備機器やインターネットを通じたサービスなどが体験できるスペースになっていました。

キッチンの天井に小さなマイクが埋め込まれており、そのマイクに向かって「お水を200cc出して」と話しかけるとカップに正確に200ccの水が出てくるのはびっくりしました。

他にも食べたい料理のレシピをマイクに話かけるとキッチンのカウンターにレシピが表示されたり、鏡に自分の姿を写すと体温や心拍数が表示されたりと至れり尽くせりの設備でした。

2020年の暮らしと言わてもなかなかイメージができませんが、この「Wonder Life-BOX 2020」は簡単に体験できるので、東京に行く際には是非、一度体験して頂きたいですね。

それではイベントレポートはこれにて終了。また次回お楽しみに♪